

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	ユマニテク短期大学
設置者名	学校法人大橋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	幼児保育学科	夜・通信	2		9	11	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学のWeb上にて「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」として公表。
https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_02-1-5.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ユマニテク短期大学
設置者名	学校法人 大橋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人ホームページ 情報公開
<http://houjin.jc-humanitec.ac.jp/information.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社（銀行）役員	R元年5月 26日～ R5年5月 25日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	社会福祉法人役員 三重県私立保育連盟会長	R元年5月 26日～ R5年5月 25日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ユマニテク短期大学
設置者名	学校法人大橋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>													
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目について、授業担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、使用教科書や参考書等を記載したシラバスを年度開始前に作成し、提出をしている。とりまとめについては教学課にて行う。提出されたシラバスは教務委員会、学科長が確認し、コアカリキュラムとの整合性や資格取得に必要な科目について教授内容との照合を行い、問題がある場合には再度、授業担当者へ変更依頼を行っている。シラバスについては、従来は紙媒体を学生に配布し、周知していたが、学内でのWifi環境が整備されたこともあり、Webにて公開している。なお、授業によっては担当者の判断により、印刷したシラバスを配布し、学生に対して授業担当者の責任において周知徹底が図られている。</p>													
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_02-3-2.pdf</p>												
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>													
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業に対する学修成果の評価については「学生ハンドブック」内にて以下の通り記載されている。</p> <p>①各科目について授業回数の4/5以上の出席があり、試験の成績が60点以上得た者を合格とし、所定の単位が与えられる。</p> <p>②前期終了科目は前期試験により、後期に開講及び終了する科目については後期試験により、また通年科目は後期試験により合否が決定される。</p> <p>③各科目の試験は100点満点とし、60点以上を合格、59点以下を不合格とし、本学における評点と評価の関係は以下の通りとなっている(学則第18条参照)。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">秀</td> <td style="padding-right: 20px;">90点以上</td> <td style="padding-right: 20px;">優</td> <td style="padding-right: 20px;">89～80点</td> <td style="padding-right: 20px;">良</td> <td>79～70点</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>69～60点</td> <td>不可</td> <td colspan="3">59点以下</td> </tr> </table> <p>上記の観点から、各授業科目においてはシラバスにて「学生に対する評価」の欄を設けて、評価の観点や評点の配分が示されている。</p>		秀	90点以上	優	89～80点	良	79～70点	可	69～60点	不可	59点以下		
秀	90点以上	優	89～80点	良	79～70点								
可	69～60点	不可	59点以下										

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学におけるG P Aとは履修科目の成績評価をグレード・ポイント (G P) に置きかえた平均を数値により表すものになっている。前期・後期ごとに配布される成績表にG P Aは記載されており、これにより学生自身の履修状況をより客観的に把握できるようにしている。本学ではG P Aを学内奨学生採用の判断材料等に利用しており、適切に運用・実施されている。

本学におけるG P Aの算出方法

各科目の試験は100点満点とし、60点以上を合格、59点以下を不合格とします。本学における試験結果の点数と評価の関係は次の通りとなっています。

評価	点数	G P
秀	90点以上	5
優	89～80点	4
良	79～70点	3
可	69～60点	2
不可	59点以下	0

●G P A (Grade Point Average) の算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{(各科目の単位数} \times \text{その科目で得た Grade Point) の総和}}{\text{(履修登録した単位数) の総和}}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_02-4-4.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定については、本学のディプロマ・ポリシーに即しつつ、本学学則上で定められている単位修得(62単位以上、うち教養科目10単位以上、専門科目40単位)をもって判断している。卒業予定者リストを教務委員会にて作成後、卒業判定教授会の審議をもって、合否を判定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_02-4-3.pdf

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	ユマニテク短期大学
設置者名	学校法人 大橋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://houjin.jc-humanitec.ac.jp/information.html
収支計算書又は損益計算書	http://houjin.jc-humanitec.ac.jp/information.html
財産目録	http://houjin.jc-humanitec.ac.jp/information.html
事業報告書	http://houjin.jc-humanitec.ac.jp/information.html
監事による監査報告(書)	http://houjin.jc-humanitec.ac.jp/information.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_04-4.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 開学3年目のため認証評価を受けておりません。

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児保育学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_01-1.pdf
(概要) 建学の精神 地域を支える次世代を社会に送り出す 教育理念 豊かな人間性と確かな技術 教育研究上の目的 ①「豊かな人間性」を身につけていること 自己理解を根源とする、助け合いの精神である共助及び、他者とともに栄えようとする共栄の精神を育むことによって「豊かな人間性」は身につくと考えています。 ②「確かな技術」 実際の技能・技術は、専門的知識とスキルと人の心が豊かに存在する専門能力が前提となったとき、「確かな技術」として確立すると考えています。 「豊かな人間性」と「確かな技術」を身につけた保育者として、 ・乳幼児期における専門的教育力・保育力を持った実践的指導力を有する専門職 ・コミュニケーション能力を有する専門職 ・地域のニーズを理解し、地域に根ざす能力を有する専門職を養成することを目指します。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_02-4-1.pdf) (概要) ①ディプロマ・ポリシー（学位授与方針） ◎本学での学びの中で 「幼児教育者・保育者として必要な使命感と倫理観と教養」 「幼児教育・保育に対する知識・技能」 「変化する状況にも主体的かつ柔軟に対応できる実践的指導力」を身につけること ◎幼稚園教諭二種免許状、保育士資格等の資格を取得し、幼児教育・保育に対する知識と技術、理解を深めるだけでなく、社会人として未来を担うことができる健全な人物であること。

教育課程の編成及び実施に関する方針
(公表方法：https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_02-3-1.pdf)

(概要) ①カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成方針)

◎幼稚園教諭・保育士としての実践的指導力を有する専門職の養成
専門的知識・技術を習得し、使命感・責任感をもって日々変化する状況に対応できる人

◎コミュニケーション能力を有する専門職の養成
共助・共栄・寛容の精神で他者とかがわることができる、社会性を身につけた人間力のある人

◎地域のニーズを理解する、あるいは地域に根ざす専門職の養成
地域固有のニーズや地域社会との連携方法を理解して、地域に貢献できる人

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_02-2_1.pdf)

(概要) ①アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

本学の入学希望者には、以下のことが求められています。

◎高等学校までの学びがしっかり修められている人

◎他者との円滑なコミュニケーションが可能で、自らの意志を明確に表現できる人

◎幼児教育・保育に従事するという、強靱な意志と志向性を持っている人

◎自ら主体的に課題設定が可能で、その課題に前向きかつ持続的に取り組んでいこうという意志を持つ人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_02-1-1.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
幼児保育	—	7人	3人	1人	2人	人	13人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		19人					19人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法 http://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_02-1-4.pdf						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FD研修：年2回実施①9月18日＝私学振興事業団（補助金について） ②2月25日＝仁愛大学教授（保育者養成校の教員としての現状と課題）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児保育	100人	63人	63%	200人	116人	58%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	100人	63人	63%	200人	116人	58%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児保育	28人 (100%)	0人 (0%)	27人 (96.4%)	1人 (3.6%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	28人 (100%)	0人 (0%)	27人 (96.4%)	1人 (3.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 幼稚園教諭2名、保育所・認定子ども園20名、児童福祉施設2名、児童福祉事業1名、その他2名				
(備考) 資格職での就職希望者25名/27名中 資格職での就職者25名/25名中 (資格職での就職率100%)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
幼児保育	31人 (100%)	28人 (90.3%)	1人 (3.2%)	2人 (6.5%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	31人 (100%)	28人 (90.3%)	1人 (3.2%)	2人 (6.5%)	人 (%)
(備考) 中途退学者の背景＝①学生個人の心身に関する事情、②修学意欲の低下					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

概要) (授業計画の作成・公表に係る取組の概要) 各授業科目について、授業担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、使用教科書や参考書等を記載したシラバスを年度開始前に作成し、提出をしている。とりまとめについては教学課にて行う。提出されたシラバスは教務委員会、学科長が確認し、コアカリキュラムとの整合性や資格取得に必要な科目について教授内容との照合を行い、問題がある場合には再度、授業担当者へ変更依頼を行っている。シラバスについては、従来は紙媒体を学生に配布し、周知していたが、学内での Wifi 環境が整備されたこともあり、Web にて公開している。なお、授業によっては担当者の判断により、印刷したシラバスを配布し、学生に対して授業担当者の責任において周知徹底が図られている。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) (各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業に対する学修成果の評価については「学生ハンドブック」内にて以下の通り記載されている。 ①各科目について授業回数の4/5以上の出席があり、試験の成績が60点以上得た者を合格とし、所定の単位が与えられる。 ②前期終了科目は前期試験により、後期に開講及び終了する科目については後期試験により、また通年科目は後期試験により合格が決定される。 ③各科目の試験は100点満点とし、60点以上を合格、59点以下を不合格とし、本学における評点と評価の関係は以下の通りとなっている（学則第18条参照）。 秀 90点以上 優 89～80点 良 79～70点 可 69～60点 不可 59点以下 上記の観点から、各授業科目においてはシラバスにて「学生に対する評価」の欄を設けて、評価の観点や評点の配分が示されている。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	幼児保育	62単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法： https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_04-5.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

https://www.jc-humanitec.ac.jp/pdf/humanitec_info-edu_01-3.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	幼児保育	600,000 円	250,000 円	250,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 大学生活全般にわたって学生指導ができるように学生一人一人にゼミナール担当教員が割りあてられており、修学指導、課外活動、友人関係、経済的な問題等の学生生活のサポート体制を整えている。また、オフィスアワーを設けて、授業科目等についての質問・相談に応じるための時間が周知されている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 1年次より卒業後の進路選択につながるような授業科目キャリアデザインを開講している。またキャリアコンサルタントの資格を有する進路担当職員を配置し、一人一人に合わせた支援ができるように全員と個別面談を実施している。ゼミナール担当教員とも連携しながら進路支援に取り組んでいる。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 毎年5月末にウェルネスチェックを全員に実施している。必要に応じてゼミナール担当教員と情報共有し、個別対応を要する学生には随時支援をしている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.jc-humanitec.ac.jp/tandai-disclosure/index.php
--